



平成27年2月12日

各 位

会 社 名 ラオックス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 羅 怡 文
(コード番号 8202 東 証 第 2 部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 矢野 輝 治
(T E L 0 3 - 6 8 5 2 - 8 8 8 1)

業績予想と実績値の差異および特別利益、特別損失の計上に関するお知らせ

平成26年11月12日に公表致しました平成26年12月期(平成26年1月1日～平成26年12月31日)の通期連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせ致します。

また、併せて特別利益、特別損失の計上についてお知らせ致します。

記

1. 業績予想と実績値の差異について

(1) 平成26年12月期通期連結業績予想値と実績値の差異

(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 連結当期純利益 | 1株当たり 連結当期純利益 |
|-------------------------|--------|--------|--------|---------|------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円・銭 |
| 前回発表予想(A) | 44,000 | 1,350 | 1,350 | — | — |
| 実績値(B) | 50,196 | 1,736 | 1,778 | 1,242 | 2.28 |
| 増減額(B-A) | 6,196 | 386 | 428 | — | — |
| 増減率(%) | 14.1% | 28.6% | 31.7% | — | — |
| (参考)前期実績 (平成25年12月期) | 33,150 | △1,664 | △1,656 | △3,245 | △5.96 |

(2) 差異の理由

平成26年12月期第4四半期会計期間におきまして、「中国出店事業」では店舗閉鎖等により売上高は減少致しましたが、「国内店舗事業」において、訪日外国人観光客の順調な増加や新店の出店などを背景に、業績が大きく改善し、連結売上高、連結営業利益および連結経常利益が前回発表予想を上回りました。

2. 平成26年12月期第4四半期連結会計期間の特別利益の計上について

中国子会社において建物付属設備および器具備品等について実施した減損損失の国際財務報告基準に基づく戻入があり、減損損失戻入益として107百万円を計上致しました。

3. 平成26年12月期第4四半期連結会計期間の特別損失の計上について

(1) 減損損失 219百万円

第三者へ転貸しているサブリース物件の収益性を再評価し、減損損失219百万円を追加計上し、平成26年12月期連結会計年度として減損損失236百万円と致しました。

(2) 店舗整理損 5百万円

中国子会社が運営する店舗閉鎖等に伴い、店舗整理損5百万円を追加計上し、平成26年12月期連結会計年度として店舗整理損184百万円と致しました。

以上